大賞

オリックス株式会社

代表者役職・氏名	取締役 兼 代表執行役社長・グループ CEO　井上 亮　氏		
設立年月	1964 年 4 月		
本社所在地	【東京本社】東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル南館 【大阪本社】大阪府大阪市西区西本町 1-4-1 オリックス本町ビル		
資本金	3 兆 2,614 億 1,900 万円	従業員数	32,253 名
事業内容	多角的金融サービス業		
ホームページ	https://www.orix.co.jp/grp/		

【概要・受賞理由】

○ オリックスグループは 1964 年の設立から 58 年を経て、投融資事業、生命保険、銀行、資産運用、不動産事業、環境エネルギー関連事業、自動車・船舶・航空機等のアセットファイナンス事業など多角的に事業を展開。

○ 関西においては、関西３空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）の一体運営や、うめきた開発などを通して関西エリアでの地域発展に寄与してきた。

○ 関西・大阪を本拠地とするプロ野球チーム、オリックス・バファローズの球団運営にも携わり、2022 年には、２年連続のリーグ優勝と 26 年ぶりの日本シリーズ制覇を達成するなど、スポーツを通じ関西を大いに盛り上げた。

【うめきた２期開発事業】

【オリックス・バファローズの球団運営】

【関西３空港の運営】

お問い合わせ先：

オリックス株式会社　グループ広報・渉外部（担当:林・金岡）
TEL：03-3435-3167

以　上

特別賞

大阪中之島美術館

代表者役職・氏名	館長　菅谷 富夫　氏		
設立年月	2022 年 2 月（開館年月）		
本社所在地	大阪府大阪市北区中之島 4-3-1		
資本金	―	従業員数	―
事業内容	美術館の運営（美術・デザイン作品の収集・保管、展覧会の開催、アーカイブ資料の保存・公開、教育普及プログラムの実施等）、ユニークベニューの貸出業務		
ホームページ	https://nakka-art.jp/		

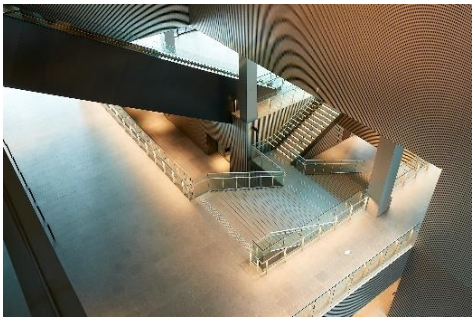
【概要・受賞理由】

○ 1983 年の基本構想発表から約 40 年間の紆余曲折を経て 2022 年２月に開館。

○ 開館以降、地元大阪を中心に大勢のアートファンが来館し、2022 年 11 月末時点で予想を上回る約 50 万人が来場するなど、気軽に美術と触れ合え自由に人々が行き交える特徴的な構造を備えた「開かれた美術館」として、多くの人に親しまれている。

○ 開館に至るまでの間、大阪にゆかりのある多数の収蔵品を収集するとともに、民間に運営を委ねる「コンセッション方式」を美術館で初めて導入し、顧客目線を重視した独自性のある展覧会を開催するなど、アート振興や地域活性化に大いに貢献している。

【大阪中之島美術館（外観）】



【大阪中之島美術館（内観）】

お問い合わせ先：

大阪中之島美術館 事業課 広報担当（担当：平／山本／東森）
TEL：06-6479-0560

以　上

特別賞

一般財団法人大吉財団

代表者役職・氏名	理事長　山本 吉大　氏		
設立年月	2017 年 6 月		
本社所在地	兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 KIITO 306		
資本金	—	従業員数	—
事業内容	産官学連携による食支援や学習支援のコーディネート事業・子ども支援団体への資金助成やネットワーク構築・災害被災地への駆け付け支援		
ホームページ	https://www.daikichi-f.or.jp/		

【概要・受賞理由】

○ 民間企業や行政機関と連携し、宅食サービスや学習サポートをはじめとした子ども支援やボランティアネットワークを通じた災害支援などに取り組んでいる非営利団体。

○ 日本初の民間主導による産官学連携子ども支援プラットフォーム(民間団体 40 団体、企業約 60 社、地域の大学生約 100 人が協働)として、「BE KOBE ミライ PROJECT」を立ち上げるなど、子どもを直接支援するのみならず、支援団体などを対象にB to B 型の支援を展開することで、より多くの人を巻き込み善意の輪を広げながら社会問題の解決に尽力している。

○ 困窮する子育て家庭への緊急食糧支援のべ 2800 世帯。コロナ禍で経済状況が悪化した大学生への緊急食糧支援のべ 851 人。子ども食堂や学習支援などを行う団体への活動応援金交付のべ 620 万円（42 団体）などの実績あり。

【子育て家庭への緊急食糧支援活動】

【被災地支援活動の様子】

お問い合わせ先：

一般財団法人大吉財団 事務局（担当：井出山／青井）
TEL：078-599-8450

以　上

特別賞

マイクロ波化学株式会社

代表者役職・氏名	代表取締役社長 CEO　吉野 巌　氏		
設立年月	2007 年 8 月		
本社所在地	大阪府吹田市山田丘 2-1 フォトニクスセンター5 階		
資本金	2,298,446,090 円	従業員数	59 名
事業内容	マイクロ波化学技術プラットフォームを活用した研究開発からエンジニアリングまでのソリューション提供		
ホームページ	https://mwcc.jp/		

【概要・受賞理由】

○ 電子レンジなどに使われる「マイクロ波」を用いた独自技術の開発や実用化を可能とする世界初の量産プラントの建設など、化学産業の製造プロセスの革新につながる取り組みを展開する大阪大学発ベンチャー企業。

○ 「マイクロ波」と再生可能エネルギーによる「電化」を組み合わせることで、化石資源由来の従来の製造プロセスに比べ、90%以上のＣＯ２排出削減を可能とする技術力に多くの大手メーカーが注目。2021 年 6 月に発表した三菱ケミカルとのアクリル樹脂のケミカルリサイクル実証を皮切りに、住友化学との水素製造プロセスの共同開発、アサヒグループ食品と凍結乾燥装置の共同開発など、様々な企業・機関と他分野に渡る取り組みを発表。また、セブン-イレブン・ジャパンと大阪府の「令和４年度カーボンニュートラル技術開発・実証事業費補助金」に申請し採択。2025 年大阪・関西万博開催時期には、大阪府内のセブン-イレブンの一部店舗から廃プラを回収し、リサイクルする工程を実証する予定。

○ 2022 年 6 月には東京証券取引所グロース市場へ上場するなど、今後益々の活躍が期待されている。

【世界初の大規模マイクロ波化学工場】

【マイクロ波を用いたケミカルリサイクル技術の大型汎用実証設備】

お問い合わせ先：

マイクロ波化学株式会社 管理本部（担当：奥中）
TEL：06-6170-7595

以　上

輝く女性賞

株式会社斗々屋 代表取締役社長　梅田 温子 氏

設立年月	2017 年 12 月		
本社所在地	京都府京都市上京区河原町通丸太町上る出水町 252 番地 大澤事務所ビル 1F		
資本金	2,000 万円	従業員数	35 人（パート含む）
事業内容	オーガニック食材やワインの輸入業から始まり、2019 年に小売事業を立ち上げ、2021 年には日本初のゼロ・ウェイストなスーパーマーケットを京都にオープンしたコンサル・卸・小売事業。		
ホームページ	https://totoya-zerowaste.com/		

【概要・受賞理由】

○ モーション・センサーを用いたセルフ量り売りシステム等を導入したスーパーマーケットを運営し、仕入れから販売までゴミが出にくい店舗づくりを実現している。取り扱い品目は生鮮品や日用品など約 700 点以上で、同様規模での量り売りの小売店は全国初。また、売れ残った生鮮食品をお惣菜や保存食に生まれ変わらせ、付属のレストランで提供するなど、事業の根本としてフードロスを出さない仕組みも徹底している。

○ 店舗運営に加えゼロ・ウェイストショップ開講講座などを通じて、ゼロ・ウェイストな生活スタイルの魅力を世に広めながら開業や事業拡大のサポートを提供し、持続可能な社会の実現に取り組んでいる。

○ 梅田氏は料理人として渡仏し、2005 年に有機食材やワインを日本に輸入する会社を起業。その後、2017 年に量り売り事業を開始し、2019 年 9 月に都内で量り売りを実践するモデル店舗をオープン。実績を積み重ねて、2021 年に京都本店をオープンし、果敢に事業展開している。また、現在は、チーム全体が女性という会社構成でもある。

【最先端のテクノロジーを用いた店舗】

【食品ロスを出さないビジネス設計】

お問い合わせ先：

株式会社斗々屋 広報（担当：ノイハウス）
info@zerowaste.co.jp

以　上

輝く女性賞

NPO 法人エル・コミュニティ 代表　竹部 美樹 氏

設立年月	2012 年 9 月		
本社所在地	福井県鯖江市旭町 1-6-6　2 階 Hana 道場内		
資本金	―	従業員数	―
事業内容	鯖江市地域活性化プランコンテスト、IT×ものづくり拠点「Hana 道場」、コミュニティシェアオフィス「Hana 工房」、全国の中高生向けサイバーセキュリティ教育プログラム「CyberSakura」 等を運営。		
ホームページ	https://www.l-community.com/		

【概要・受賞理由】

○ 2008 年から福井県鯖江市で「市長をやりませんか？」というキャッチコピーを掲げた地域活性化プランコンテストを毎年開催。2015 年には、IT ものづくり拠点である「Hana 道場」を開設し、子供から大人までにプログラミングを学ぶ場を創出している。

○ 若者が活躍するフィールドの創出や地域を担う人材育成につながるこれらの取り組みは、人々が地元への愛着を深めるきっかけになるとともに、地域の活性化に大いに貢献している。

○ 竹部氏は、短大卒業後都内の IT ベンチャー企業に勤務。実家のある鯖江に帰省した際に商店街の賑わいが失われていることに危機感を感じて以来、鯖江に戻り、地元の活性化に取り組んでいる。KDDI や SAP など、名だたる企業が竹部氏の取り組みに共感し、協賛している。

○ 2017 年には、経済誌「Forbes JAPAN」が選ぶ日本を元気にする 88 人の 1 人に選出。

【鯖江市地域活性化プランコンテストに参加する大学生】

【Hana 道場でプログラミングをする子供達】

お問い合わせ先：

NPO 法人エル・コミュニティ　（担当：岡本）
TEL：080-3048-0087

以　上

輝く女性賞

エルセラーン化粧品株式会社

代表者役職・氏名	代表取締役社長 兼 １%クラブ代表　糸谷 沙恵子　氏		
設立年月	1981 年 4 月		
本社所在地	大阪府大阪市北区梅田 1-1-3（大阪駅前第 3 ビル 5F）		
資本金	1,000 万円	従業員数	95 名
事業内容	化粧品の製造・販売、栄養補助食品・補整下着・医薬部外品・医療機器・家庭用浄水器・空気清浄機の販売、ホテルの経営		
ホームページ	https://www.elsereine.jp/		

【概要・受賞理由】

○ 創業者の想いを受け継いだ生え抜きの女性社長のもと、植物由来の天然系原料から成る化粧品の製造販売などを行いつつ、売上の一部を活用した途上国への学校建設や京都での里山再生などに取り組んでいる。途上国への学校建設 1,000 校の目標に向けて、既に 240 校を建設。

○ 社長をはじめ、役員の６割、部長職の５割、全国の販売代理員の９割以上が女性であり、女性の力を事業に展開しながら、誰もが活躍できる社会づくりを推進している。

○ また、大阪でホテルも経営し、雇用に貢献しているとともに、自社ホテルで年間十数回行うフェスティバルのオープニングコンサートで、関西で活動する演奏家を起用するなど、コロナ禍でも活動の場を提供し、関西の文化・芸術活動を支援している。

【創業以来、天然原料にこだわったお肌にも地球環境にも優しい化粧品を提供しています】

【シンデレラをモチーフにした大阪・堂島の直営ホテル。全館禁煙で特に女性に人気です】

お問い合わせ先：

エルセラーン化粧品株式会社 教育部（担当：隅田／辻野）
TEL：06-6367-0705

以　上

輝く女性賞

サンコーインダストリー株式会社

代表者役職・氏名	代表取締役社長　奥山 淑英　氏		
設立年月	1948 年 3 月		
本社所在地	大阪府大阪市西区立売堀 1-9-28		
資本金	1 億円	従業員数	455 名
事業内容	ねじ・工具類の卸売		
ホームページ	https://www.sunco.co.jp/		

【概要・受賞理由】

○ 大阪市内のねじ・工具・締結部品卸売企業。企業規模としては中堅であるが、大手企業に匹敵するほどの就職エントリー数の実績があり、女子学生からの人気が高いことで知られている。

○ 出産や子育てを経ても女性が安心して仕事を続けられるよう、社員の意見をもとに毎年のように就業規則を見直すなど、時代に即した制度改正に積極的に取り組んでいる。

○ こうした長年の取り組みが、社員一人ひとりへのサポート体制の充実につながり、「世界最高齢の総務部員」としてギネス記録に認定された 92 歳の現役女性社員が在籍するなど、女性がいきいきと安心して長く活躍できる環境を生み出している。

○ 大阪市が認証する女性活躍リーディングカンパニーにも選ばれており、大阪・関西地域のイメージアップにも貢献しているとともに、人口減少による定年延長が議論されている日本で参考にすべき企業の一つとも言える。

【代表取締役社長　奥山淑英】

【東大阪物流センター】

お問い合わせ先：

サンコーインダストリー株式会社 総務部（担当：佐藤/山内）
TEL：06-6539-3537

以　上

輝く女性賞

奈良国立大学機構 奈良女子大学

代表者役職・氏名	学長　今岡 春樹　氏		
設立年月	1949 年 5 月		
本社所在地	奈良県奈良市北魚屋東町		
資本金	―	従業員数	383 名（教職員数）
事業内容	女子の最高教育機関として、専門の学術文化、学術の理論及び応用を教授、研究し、その能力を展開させるとともに、文化の進展に寄与することを目的とする。		
ホームページ	http://www.nara-wu.ac.jp/		

【概要・受賞理由】

○ 同大学は、日本に２つしかない国立の女子大学のひとつであり、2022 年４月に全国の女子大初の工学部を新設。独創的なイノベーションの基礎となる STEAM 教育とリベラルアーツ教育をもとに、工学の専門教育の自由履修と PBL を中心にした主体性を育てるカリキュラムが特徴。

○ 女性のエンジニア不足が製造業などにおける女性活躍の推進を図るうえでの大きな課題となるなか、今回の工学部の新設により、工学教育を学びたい女性の選択肢や可能性を増やすとともに、今後、エンジニアリングの世界で多くの女性が活躍し、研究開発に更なる多様性がもたらされることが期待される。

○ ジェンダー・バイアスにより理工系に女子学生が集まりにくい中で、工学部のイメージを変えることにつながる、同大学の思い切った取り組みは評価に値する。

【工学部での授業風景】

【オープンキャンパス風景(ﾓｰｼｮﾝｷｬﾌﾟﾁｬｰ説明)】

お問い合わせ先：

奈良女子大学 総務課総務係（担当：竹内）
TEL：0742-20-3204

以　上